リリースノート

初版　2014-09-01

改訂情報

変更年月日	変更内容
2014-09-01	初版

目次

はじめに

本書の目的

本書ではOpenRulesをintra-martで利用するためのモジュールのリリース内容について記載されています。
なお、OpenRules製品本体のリリースについては、OpenRulesのリリースノートをご確認ください。

製品の利用対象

次の利用者を対象としています。

- ルールエンジンを使用し、システムを構築される方

機能

- 本モジュールは、OpenRules社のOpenRulesの機能のうち、intra-mart Accel Platform上で動作検証したもののみを、ユーザモジュール形式(imm)で提供します。
  モジュールに含まれるOpenRulesの機能は以下の通りです。

Rule Engine

機能	機能概要
Rule Engine	定義したルールを実行することができます。 IM-BIS for Accel Platformとの連携モジュールを利用すると、データマッパー経由で値の受け渡しが可能です。

Rule Solver

機能	機能概要
Rule Solver	定義したルールを実行することができます。 Rule Engineと異なりルールの順序を自動的に解決することができます。 IM-BIS for Accel Platformとの連携モジュールを利用すると、データマッパー経由で値の受け渡しが可能です。

intra-mart Accel Platform 連携機能

機能	機能概要
データソース定義（ルール）	OpenRulesで定義したビジネスルールを登録し、IM-BIS、IM-FormaDesignerで作成したフォーム上で利用できるようにするための機能です。

コラム

以前よりご提供しておりました、OpenRules機能強化モジュールは、IM-BIS/OpenRulesコネクタをIM-BISへ移管したため、2014Springより廃止しました。
各モジュールの関係は以下のようになっております。

①IM-BIS/OpenRulesコネクタ8.0.x(2014Spring以降。jugglingより入手)
　IM-BISとOpenRulesをつなぐコネクタ。
②OpenRulesモジュール(2014Spring以降。immファイル。メディアにて提供)
　OpenRules本体。OpenRules社で開発された製品のみ含まれる。
③OpenRules機能強化モジュール8.0.x(2013Winterまで。immファイル。メディアにて提供)
　2014Springより廃止。上記コネクタとOpenRules本体が同梱されたもの。

BISのバージョンと必要なモジュールの関係は以下のようになっております。

	必要なモジュール		
BISのバージョン	①	②	③
2013Winter以前	×	×	○
2014Spring以降	○	○	×

システム要件

intra-mart Accel Platformで利用するOpenRulesモジュールに関するシステム要件は次の通りです。

OpenRulesモジュールが対応するサポートバージョン

- OpenRules 6.3.2 Alpha Evaluation Version

intra-mart Accel Platform

- intra-mart Accel Platform 2014 Summer に準じます。

サーバ要件

- 利用する intra-mart Accel Platform 2014 Summer のサーバ要件に準じます。

ライセンス要件

種別	ライセンス
プラットフォーム	intra-mart Accel Platform [Advanced Edition]

検証済み環境

- 以下、弊社動作検証済みの intra-mart 製品と他社ミドルウェア製品との組み合わせとなります。

サーバ環境

スタンドアローン構成

OS	Java VM	Web Server	Web Application Server	Database
Red Hat Enterprise Linux 6	Oracle JDK7		Resin 4.0.40	PostgreSQL 9.3
Windows Server 2012	Oracle JDK7	Apache HTTP Server 2.2	Resin 4.0.40	Microsoft SQL Server 2012
Red Hat Enterprise Linux 6	Oracle JDK7		Oracle WebLogic Server 12c (12.1.1)	Oracle Database 12c Release 1

分散・複数テナント構成

OS	Java VM	Web Server	Web Application Server	Database
Windows Server 2012	Oracle JDK7	Apache HTTP Server 2.2 Resin [A] [B]に接続	Resin 4.0.40 [A] Resin 4.0.40 [B] * 別筐体に Resin を構築 * 各サーバ上に複数テナント（WAR）を設置 * タイムゾーンを「Asia/Tokyo」を設定	IBM DB2 10.1 FixPack2 Oracle Database 12c Release 1 * テナント別に各DBを利用

コラム

弊社で検証している環境のOracle JDK7のバージョンは、Java SE Development Kit 7u55 です。

コラム

全検証環境のデータベース接続に利用するJDBCドライバは、Type4（非XA）にて検証を実施しています。

注意

上記はIPv4環境での検証となります。IPv6環境での検証は行っておりません。

注意

intra-mart製品以外（OS、Java VM、Database、Mailサーバ等）に起因する問題はサポート対象外となります。

クライアント環境

PC

OS	ブラウザ
Windows 7 SP1	Internet Explorer 8 Internet Explorer 9 Internet Explorer 11 Google Chrome 35 Firefox ESR 24.5
Windows 8.1	Internet Explorer 11 （デスクトップ用 Internet Explorer ）
Mac OS 10.9	Safari 7

サードパーティ ライセンス一覧

サードパーティ	バージョン	ライセンス	URL
Apache POI	3.10	ASL	**http://poi.apache.org/**（English）

著作権および特記事項

intra-mart は株式会社 NTT データ イントラマートの登録商標です。

Oracle と Javaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

OpenRules は、OpenRules inc. 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本製品を使用する場合は、本製品に含まれる各ソフトウェアのライセンスについても同意したものとします。

以上

Copyright © 2014 NTT DATA INTRAMART CORPORATION